

けたよ 体験イベント

陸前高田

まずは拾つことを楽しんで、化石への関心を高めてもらえば」と話していた。

体験イベントは、19

日も午前10時～11時30分まで開催。同館では

粘土を使った恐竜工作などが体験できる「恐竜誕生」(午後1時30分と3時、各回30分前から先着順受付)も行われる。参加無料。問い合わせは市立博物館(TEL 080・1694・7794)へ。

台展は、全国興財団、体講師役、中央博物院佳さで微生際無虫とい知られ、た。顕微鏡で細かい特徴を確認したり、加藤さんから生態などの解説を受けた。

砂から、つまようじでシナだけではなく、貝殻のような形もみられ、子どもたちは発見するたびに声を上げながら手を動かしていく。

有孔虫の化石は、太古の海の環境を推定したり、地層の年代を決めていた。加藤さんは「大船渡や陸前高田の石灰岩にも、有孔虫の化石がいっぱい入っている。



七観音まばゆく

町 盛

『観音様の日』の18

町5の11、商業・鈴木

5) 6月、三陸沿岸を

代表する長者・稻子澤

まばゆく輝く七観音

は、文化12年(181

難しかったけど、いろ

んな形があることを知

って、勉強になりまし

た」と語り、笑顔を見

せていた。

有孔虫の化石は、太

古の海の環境を推定し

たり、地層の年代を決

める手がかりとして、

研究が進められてき

た。加藤さんは「大船

渡や陸前高田の石灰岩

にも、有孔虫の化石が

今年も公開された鈴木さん宅の稻子澤七觀音

制作から長い年月がたち傷みが激しくなつたため、鈴木さんが平成16年に大東町在住の京仏師・石川昇明

一面、不空羅索(けんじやく)、准胝觀音(じゅんてい)、如意輪(じゆりん)六觀音を安置している。

『観音様の日』に合わせた一般公開は今回で9回目となつた。普段は収納されていることから、市民にとって多くの参拝者や見学者が訪問。

鈴木さんは「これら

の制作年代は江戸中後期の作で、聖觀音の目に玉眼が用いられていて、多くの参拝者や見学者が訪問。

店舗群「地ノ森ヒルズ」で18日、「地ノ森ヒルズ祭」が開かれた。初めてのイベント開催となり、店主らが屋台を出して各店のPRに努めた。地ノ森ヒルズは独立行政法人中小企業基盤整備機構が地ノ森仮設住宅近くに設置した仮設施設で、2階建て2棟に飲食店や理・美容、針きゅうなどの10店が入り、昨年12月ごろから営業スタートしている。地域への日びの感

家から分家する際に持たせられたと伝えられている。中央の聖觀音(じょうかんのん)を囲むように、千手、馬頭、十一面、不空羅索(けんじやく)、准胝觀音(じゅんてい)、如意輪(じゆりん)六觀音を安置している。

今年も公開された鈴木さん宅の稻子澤七觀音の諸像が整えられた時期と同じころとみられています」と話し

てのイベントを企画。駐車場が会場となる居酒屋スペシャルキッチンの佐藤照之店長は、「通りから離れた場所なので、PRに力を入れたいと初めて開いた。皆さんの応援に力を借りた。地域の活性化を図るために、めでたい紅白もちや各店のサービスメニューなどを配った。この日も前日に続き蒸し暑い一日となつたが、来場者たちは有志による津軽三味線やアコーディオン演奏が流れていた。

店舗群の代表を務める居酒屋スペシャルキッチンの佐藤照之店長は、「通りから離れた場所なので、PRに力を入れたいと初めて開いた。皆さんの応援に力を借りた。地域の活性化を図るために、めでたい紅白もちや各店のサービスメニューなどを配った。この日も前日に続き蒸し暑い一日となつたが、来場者たちは有志による津軽三味線やアコーディオン演奏が流れていた」と話していた。



完成に期待しながら、成形した土器の野焼き